※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ちくま現代の国語」（筑摩書房）						
副教材等	「現代文　キーワード読解［改訂版］」（Z 会） 「意味から習得　音訓別　重要頻出漢字リアルマスター３３００」（尚文出版） 「改訂版　プレミアムカラー国語便覧」（数研出版）など						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

【目的】
「現代の国語」の授業では、現代の日本語によって書かれた文章を扱います。普段使っている日本語を改めて学ぶ目的は、「言葉による見方・考え方を働かせる言語感覚を磨くため」であるとともに、「自分の伝えたいことをわかりやすく相手に伝えるため」であり、また「相手の言いたいことを的確に理解するため」です。皆さんは、これからの人生のなかで様々な人に出会い、これまで以上に多様な価値観の人と関わっていくことになるでしょう。そうした人々とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たす論理的思考力や豊かな想像力は、言葉の働きによって支えられています。また、他者と関わる中では、自らの考えを「相手に伝わる」ように表現し、相手の考えを「しっかりと理解できる」ことが求められます。しかし、その土台となる言語感覚や能力を磨くためには、普段よりも丁寧かつ精密に言葉と向き合う時間が必要です。「現代の国語」はその時間です。授業を通して、みなさんが自らの言語感覚・能力を向上させていくことが「現代の国語」という科目の目的です。
【学習方法】
・日常的に辞書を引く習慣をつける。
　語彙力はすべての言語活動の土台です。日々、気になる言葉・意味のよくわからない言葉などに出会うたびに辞書を引くことで、語彙力を養いましょう。
・読書の習慣をもつ。
　たくさんの文章を読むことは、語彙力や表現力を身に着ける上で欠かすことができません。また、思考力を鍛える・多様な価値観に触れるという意味においても、読書は非常に大きな意味を持ちます。文章には様々な経験・考え・価値観が表現されています。読み終わった後に、読んだ文章について振り返ったり、考えたことを書き記したりすることで、自分の思考を深めたり広げたりすることにつながります。
・主体的に自らの思考を働かせる。
　普段何気なく使っている日本語だからこそ、意識して言葉と向き合うことが必要です。各課題に対しては、集中して、主体的に取り組んでください。「なんとなくわかる（答えられる）」のではなく、論理的に説明できるようになることを意識して取り組むとよいでしょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、日本語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
・日本語の言葉の知識や技能を身に付け、目的や場にふさわしい語句や表現を選んで、適切に思いや考えを表現できる。
・論理的に考える力や目的や場に応じて適切に表現する力、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成を理解し、他者の考えを正しく理解できる。
・人間関係において互いを尊重し、言葉を通じて正しく意思を伝えあうことにより、相互理解を深めることができる。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、日本語の言語文化を尊重する態度をはぐくんでいる。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日本語の言葉の知識や技能を身につけ、目的や場に応じて適切に語句や表現、構成を用いるとともに的確に文章の内容や構成を理解することができる。	・目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりし、自分の考えをまとめ、深めている。 ・相手や目的、意図に応じ、適切な内容・表現・構成をもつ文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	・言葉を通じて正しく意思を伝えあい、相互理解を深めようとするとともに、言葉がもつ価値への認識を深め、日本語の言語文化を尊重する態度をはぐくもうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	語句や表現を工夫して話す・聞く。 ［教材］ 「私たちにはなぜヒーローが必要なのか」 「デジタル社会」	a：必要な語句や表現を身につけ、相手・目的に応じて適切に語句や表現を用いることができる。 b[話/聞]：相手にわかりやすく伝えるために、語句や表現を工夫して話すとともに、相手の考えを的確に聞き取っている。 c：語句や表現に関する知識や考え方を理解しようと努め、話し方や聞き方を工夫して考えを豊かにしようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート 振り返りシート
	語句や表現、構成に注意して的確に読みとる。 ［教材］ 「失われた両腕」	a：必要な語句や表現、構成に関する知識を身につけ、その文章中における働きを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握している c：必要な知識を身につけ、語句や表現、構成の働きについて理解しようと努め、意識して要旨や要点を捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	表現や構成を工夫して意見をまとめる。 ［教材］ 「身体、この遠きもの」 『夢十夜』	a：語句や表現の知識を身につけ、その特色を理解するとともに、文章の効果的な構成について理解している。 b[書]：語句や表現の特色を理解して用い、論理の構成や展開を工夫して適切な表現の仕方を考え、意見をまとめている。 c：語句や表現の特色について理解して用いようとし、文章の構成や展開を工夫しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
2学期	構成や情報の扱い方を工夫して話す・聞く。 ［教材］	a：目的や場に応じた適切な表現や構成、情報の用い方について理解している。	ワークシート 定期考査	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	「ことばとは何か」 「名づけと所有」	b[話/聞]:目的や場に応じて、構成や情報の扱い方を工夫して話したり聞いたりすることができる。 c:話したり聞いたりする上で必要な語句や表現、構成の働きについて理解しようと努め、工夫して話したり聞いたりしようとしている。	小テスト		
	論理展開や情報の扱い方を工夫して書き、自らの考えを明確にする。 [教材] 「境目」 『羅生門』	a:語句や表現を正しく用い、目的や意図に応じた効果的な論理展開や構成について理解している。 b[書]目的や意図に応じた適切な論理展開や情報の量・重要度を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫して書き、自らの考えを明確にできる。 c:目的や意図に応じた適切な構成、情報の扱い方を理解しようとするとともに、工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	構成や情報の扱い方を工夫して書く。 [教材] 「来るべき民主主義」	a:目的や意図に応じた適切な表現や構成、情報の扱い方について理解している。 b[読]:語句や表現に注意して、情報どうしの関係を的確に捉えている。 c:目的や意図に応じた適切な表現や構成を考えて自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
3学期	論理展開や情報の扱い方を工夫して書き、自らの考えを明確にする。 [教材] 「贅沢の条件」	a:語句や表現を正しく用い、目的や意図に応じた効果的な論理展開や構成について理解している。 b[書]目的や意図に応じた適切な論理展開や情報の量・重要度を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫して書き、自らの考えを明確にできる。 c:目的や意図に応じた適切な構成、情報の扱い方を理解しようとするとともに、工夫して書こうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	叙述をもとにして的確に読み取り、自らの考えを広げ、深める [教材] 「マルジャーナの知恵」	a:語句や表現、構成の効果について理解するとともに、語感を磨き、語彙を増やしている。 b:[読]語句や表現、構成に注意して文脈を捉え、書き手の意図や文章の要旨を的確に読み取り、自らの考えを広げ、深めている。 c:語句や表現の適切な理解に努め、語感を磨き、語彙を増やそうとしている。 書き手の意図や文章の内容を的確に読み取ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	話すこと・聞くことを通して、自らの考えを広げ、深める。 [教材] 「贈り物と商品の違い」	a:話したり聞いたりする上で必要な語句や表現の知識を身につけ、目的や場に応じた表現を用いることができる。 b[話/聞]目的や内容、状況に応じて情報の用い方や話の構成、論理展開を工夫するとともに、話し合いを通じて自らの考えを広げ、深めている。 c:語句や表現の知識を増やし、目的や状況等に応じた適切に話し方を工夫しようと努め、話し合いを通じて自らの考えを広げ、深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

※令和４年度以降入学生用

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間